

を施すにあつて、常に一方その方法について研究すると共に、他方に於ては生徒の個性及び精神状態の如何を研究して、十分徹底せしむる事につとむると共に、徹底せしめ得る状態の下に置く事が肝要である。

□なほ終りに今日の社會に於て教育者としての女子の立場について一言し度いと思ふ。教育者としての女子の立場は男子に比して狭いものではない物事に表と裏とがある様に、概して男子は積極的であり女子は消極的である、女子にはどこまでも綿密な注意柔しい同情が必要である、實際教育をするにあつても、男子が暴くはげます様に仕向けるに對して女子はやさしくかばふ様にする事が肝要であるかうして男女相俟つてはじめて完全なる効果を擧げる事が出来る。

□女子はその特性の關係から餘計に氣をつかふ、併し精神の使ひ分けをする事は非常に大切である、つまり感情の問題などに精神をつかふ事なしにその目的に向つて全力を盡す事が肝要である、些細な事に無暗に氣をつかふ事は經濟上の大缺點である。教

育者である以上は教育に向つて一身を培し全力を盡してはじめて徹底的にその目的を遂げる事が出来る。

□今や我國の社會に於ては、國民思想の動機など、言つて非常にやかましい問題になつて居る、そしてその原因は明かである、しかもその救済者は教育者に俟つの外はないのである。眞の教育者即その目的とする所を理解し、それに向つて獻身的の努力をなすべく十分なる熱心と意氣込とを有する所の教育者によつてはじめて救はれる事が出来る。將來その任にあたられる諸姉は大いに務める所があつて欲しいことに前に言つた様に教育界に於ける女子の立場は決して狭いものでなくむしろ非常に廣大なものである故、此の點に對して大いに自覺し十分なる効果を擧げらるゝ様に努力せられん事を希望する。

(第三十一回文科學術談話會講演筆記)

### 批評 (第十號)

□淺黄色の空の果が美しくかんですつかり春の様な

氣持のするある日の午後二人は賑かな電車を少し横へは入つたところにS.S先生を訪ねて二階の應接室で、前號の批評を伺つて來た。

□全体の編輯の上より見てカットの使ひ方にいかにも田舎々々した所がある。これは活版屋が氣がきかないといふ事もあらうが一層編輯する人にも注意して貰ひたい。

□みだしの段をかへる事にも注意して欲しい。又句讀のうち方がすい分めちや／＼であると思ふ。これがよほど全体の編輯の上に關係して來ると思ふ。

□内容については今批評する事は出來ないが歌だけはすつかり読んで見た。一体に若々しい氣分のある事をうれしく思つた。「よくぞわれ……」等の歌殊に女らしくてよろし。この人の歌にはいかにも愉快さうな氣分があらはれて居ると思ふ。それから寂しいとか悲しいとか言ふ氣分、これはこの時代の人の心に必ずあることであるのだから、この氣分のある歌だつて悪いとは決して言はれない。もう一つ歌についていへば何でもかんでも目にふれるものを歌にするといふこともよい事ではあるが又何と云つてよい

か——コンセントレートする事——つまり滴々として滴る様な所をつまみ出す事が必要だと思ふ。餘りこれに囚はれると手も足も出なくなるからその程度は難しいがとに角今の人はこの點が少し缺けて居はしないだらうか。

それから、歌は説明して終つてはつまらなくなる。たとへば「清らけき水にひたれる我が髪のひとつ筋ごとに光るめでたさ」光る。迄で澤山である。めでたさは餘計なものだと思ふ。歌については此位である。

□それからついでにたゞ自分一個の考として述べるが、この雑誌にはなるべく歌とかその他純文學のものを避けた方がよいのではないだらうか。これは少し極端な様であるが、自分はその作者を重んじて言ふのである。とに角學術談話會の雑誌としてもつと／＼報告的なものにして終つた方がよいと思ふ。つまり實用的の雑誌にしたいのである。そして必要があればもう一つ文藝の雑誌を出すか、そうでなければそれらの作者達に適當な機關を與へてやる事にすればよいと思ふ。がこれはたゞ自分一個の考にすぎないのである。